医療薬学研究科シ ラバス

Syllabus 2020

	科目名	220014BDP1	単位数		2							
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	斗(1 年)				時間数	30	AL 科目		0	
	担当者	前田 和彦		開講学期	2020 年度	前期	必修•選択	必 修	授業形態	講	義、S	GD
•	受業の概要 般目標(Gl	雑かつ判断が美理問題の予測、本特論では、臨 (O) 「~の規制の根またこれは、臨	いて、薬剤師は医療人 進しい倫理的問題を数 評価、判断ができ、優 床現場における「~に 拠となる制度(法)は何 末現場での服薬指導 。本特論を通じて受請	(多く引き起こ 医療人として札 は患者の権利 「か」等の臨り やインフォー・	している。そこ 目応しい行動規 として認められ までの実践的問 ムド・コンセント	で医療係 記範を示いるか」、 いかけいだけでは	侖理学特論では すことができる薬 「~は薬剤師の を倫理的・社会 よなく、創薬や薬	、臨床及び研究 薬剤師の育成を 行動として倫理 的・臨床的視点 で学を含めた生作	Rにおける様 目的とする。 ■的妥当性は を踏まえた言 命科学研究≤	々な[した] ある! 対議を k体!	医療(がって か」、 行う こも必	倫 。要
	到達目標 (SBOs)	要性と注意点を 誤から生ずる医 6) 薬の製造や	上命倫理の学問的経結 説明できる。 3)臨床 療従事者の責任と倫服用に関して必要な	における患る 理問題を説明 責任や倫理額	皆の自己決定材 明できる。 5) 疾 見を説明できる	権とその 長病が患 。 7) 生₁	問題点を説明で 者に及ぼす倫理 命に関わる倫理	きる。 4) 臨床. 里的問題を抽出 !的問題点を抽!	上の医療契約 し、必要な態 出し、説明で	りや図 度を きる。	医療過	<u>岛</u>
	務経験のな 員による教		して医療機関にて長 ^ら B薬指導歴を持ち、そ			を活かし	た指導を行う。	鈴木は、薬剤師	「として大学派	有院等	で長	:年
	評価方法	3回のレポート	および口頭発表を総合									
	準備学習・ 多上の注意		り、自ら探求し、講義	への準備を行	亍う等、 積極的	な態度を	を望みたい。					
オ	フィスアワ	一 月曜~木曜日昼	基休み及び在室時は	通時(1 号棟 3	B 階 B-327 医哥	事法学研	· 开究室)					
	計画								1-2	1 114		
回数	SBOs No.			授美	業 内 容				授方		担	当
1	1)	医療倫理と生命倫理	理と生命倫理の歴史的変遷を確認し、理解する。 講									
2	1)2)	臨床に必要なインフォ	ームド・コンセントのタ	知識を確認し	、理解する。				講	義	前	田
3	2)3)	臨床に必要な患者の	自己決定権の内容を	確認し、理解	゚゚する。				so	à D	前	田
4	3)4)5)	医療契約に関する知	識を確認し、理解する	D _o					講	義	前	田
5	3)4)5)	医療契約により生ずる	る医療従事者の倫理権	観について討	議する。				so	G D	前	田
6	3)4)5)	医療過誤とリスクマネ	ジメントに関する知識	載を確認し、 討	 議する。				so	à D	前	田
7	3)4)5)	医療過誤の事例から	医療従事者の責任と	倫理観につい	ヽて討議する。				s c	G D	前	田
8	3)5)7)	疾病が患者に及ぼす	倫理的問題について	確認し、理解	する。				講	義	佐	藤
9	1)~7)	医療倫理に関する問	題を発表し、討議する) °					s c	G D	佐	藤
10	3)7)	生命の選択に関わる	倫理的問題を討議す	る。					講	義	前	田
11	5)6)7)	薬と倫理に関する事件	列を発表し、討議する	•					講	義	鈴	木
12	1)~7)	医療倫理に関する問	題を発表し、討議する) ₀					s c	G D	鈴	木
13	1)4)5)	医療従事者の守秘義	務と倫理観について	確認し、理解	する。				講	義	前	田
14	3)5)7)	脳死や臓器移植に関	する知識を確認し、理	理解する。					s c	G D	前	田
15	3)7)	安楽死や尊厳死の倫	理的問題を確認し、現	里解する。					so	G D	前	田
教科	書(著者	名)出版社名【ISBN】	医事法講義[新編第	4 版](前田	和彦)信山社	(東京)	[978-4-7972-	8654-0]	•			

なし

	科目名	薬学研究方法特	寺 論		授業コード	220015BDP1	単位数	2	2		
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	4(1年)				時間数	30	AL 科目	C)
	担当者	比佐 博彰		開講学期	2020 年度	前期	必修·選択	必 修	授業形態	講義、	演習
	養業の概要 般目標(G)	ために、問題点 る能力、さらに、 (O) 特論では、基礎 的・化学的な実	て指導的立場に立てを抽出し検討課題を認成果を公表し社会に薬学・医療系の英文等 験手技、②データの紹文の作成方法等を学	设定する能力 還元する能力 学術論文およ 統計学的解析	」、課題遂行の 力が求められる び実験調査 、情報処理、)手法を選 る。それら データ等を 文献デー	≹択し実施する負 の能力を培うた ・題材とし、①研 タベースの活用	と力、検討結果 めの基本的素素 究の進め方、等 、3医学薬学	を客観的に評作 養として、薬学 学術論文の構成 関域に用いられ	価し総研究方成、生物 研究方式、生物の表現である。	括す 5法 物学 文表
	到達目標 (SBOs)	手技を説明でき	成り立ちを説明できる る。 4) 適切な統計学 造や服用に関して必	的検定方法	を選択しデータ	を解析で	きる。 5) 文献:	データベースをえ	舌用し情報を耳		
	§経験のな 員による勢										
	評価方法	3回のレポート2	及びプレゼンテーション	ン等を総合的	に評価する。						
	準備学習 [.] §上の注意		答すること。 毎回課	題を出すので	で、次回の授業	きまでに完	民成させておくこ	と。			
オ	フィスアワ	各授業日 17:00	~19:00(各担当者居	室)							
	計画 SBOs										
回 数	No.		授業内容 								担当
	1)7)		を読む(1) abstract から研究の全体像を読み取る。								7
2	1)2)7)	論文を読む(1) 研究 ラ	を読む(1) 研究テーマの設定方法を考える。								7
3	1)2)3) 7)	論文を読む(1) どのよ	うな研究手法・手技な	があるのかを	知る。				講義、演	图 大	「 1
1	1)2)4) 7)	論文を読む(1) 研究原		方を考える。					講義、演	習 大	、 1
5	3)4)	データの成り立ちに合	わせた統計学的検定	≧法を選択す	る。				講義、演	習上	ኒ (
6	3)4)	統計学的検定法の概	略を説明しデータ解析	折を実施する	0				講義、演	習 比	Ł 1
7	1)7)	論文を読む(2) abstra	ct から研究の全体像	を読み取る。					講義、演	習山	T III
3	1)2)7)	論文を読む(2) 研究う	テーマの設定方法を考	きえる。					講義、演	習 山	1 #
9	1)2)3) 7)	論文を読む(2) どのよ	こうな研究手法・手技が	があるのかを	知る。				講義、演	習 山	1 14
10	1)2)7)	論文を読む(2) 研究原		方を考える。					講義、演	習止	1 14
11	5)	文献・化合物データベ	一スを使う。				講義、演	習田	3 [
1 2	5)	研究課題に関連する	情報を収集し活用する				講義、演	習田]		
13	2)6)	研究課題の目的・意義	養を説明する。						講義、演	習蓮	盲 刍
1 4	2)6)7)	研究課題の目的・意義	養を英文で記す(1)。						講義、演	習蓮	育ら
1 5	2)6)7)	研究課題の目的・意義	 義を英文で記す(2)。						講義、演	習	育 生

	科目名	医療薬学総合濱	寅習				授業コード	220016BDP1	単位数	Į	2	
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	斗(4年)				時間数	30	AL 科I	■	0	,
	担当者	鈴木 彰人		開講学期	2020 年度 前	前期	必修·選択	必 修	授業形	態	演習・	SGD
	養業の概要 般目標(GI	判断能力を総合 適化していく能; 種々の設定によ して実施する能	関習は、これまで学ん 計的に活用できることで 力の向上を目指す。 具 らけるシミュレーション 力、および検討結果を	を目的とする。 は体的には、り を演習形式で を客観的に評	。即ち、薬剤師業 病院薬局、保険薬 で体験し、問題点な 価し総括する能力	務の中 に局、在 を抽出 かを修行	で、レギュラト! 宅医療の各現 して検討すべき 得する。	ノーサイエンス(場における薬剤 課題を提起し、	の概念に 削師業務 . 課題遂	基づき を想定 行の手	業務。 して、 法を選	を最選択
	到達目標 (SBOs)	イエンスの概念 きる。	おいて、レギュラトリー に基づき業務を最適									
	§経験のま 員による教											
	評価方法	授業に対する取	り組み姿勢(積極的な			点)おし	はび授業後の簡	単な口頭試問	またはレ	ポート	内容(50
	準備学習・ 多上の注意	超業時間从1-1	りに評価して点数をつ 5 時間の学習を行う。		E&117。							
オ	フィスアワ	一 在室時適宜										
	授業計画 回 SBOs 授業 中央											
凹 数	No.		Page									
1	1)	病院薬局における業	局における業務問題の予測ができる。									木
2	1)	病院薬局における業	おける業務問題の評価ができる。 演習 鈴木									
3	1)	病院薬局における業	務内容の適切性の判	断ができる。						演習	髙	村
4	1)	病院薬局におる業務	の最適化ができる。							演習	徳	永
5	1)	病院薬局業務におけ	る総合的討論							SGI	横	山
6	2)	保険薬局における業	務問題の予測ができる	3 .						演習	下:	堂薗
7	2)	保険薬局における業	務問題の評価ができる	3 .						演習	自自	﨑
8	2)	保険薬局における業	務内容の適切性の判	断ができる。						演習	比比	佐
9	2)	保険薬局におる業務の	の最適化ができる。							演習	山本	5、蒲生
10	2)	保険薬局業務におけ	る総合的討論							SGI	大	倉
11	3)	在宅医療における業	務問題の予測ができる	ა						演習	黒	. JII
12	3)	在宅医療における業	務問題の評価ができる	5 .						演習	佐	藤
13	3)	在宅医療における業	 務内容の適切性の判	断ができる。						演習	松	野
14	3)	在宅医療におる業務の	 の最適化ができる。							演習	木	村
15	3)	在宅医療業務におけ	る総合的討論							SGI	山崎	奇、大塚
教科	書(著者名	名)出版社名【ISBN】	使用しない。								1	
参考	書(著者	名)出版社名【ISBN】	必要に応じレジュメ	を配付する。								

	科目名		(特別研究)				授業コード	220017XDP0	単位数	0)	
配	当学科(学	年)	医療薬学研究科	4(1~4年)			時間数	30	AL 科目	С)	
	担当者		山本 隆一		開講学期	2020 年度 前期~後期	必修•選択	必 須	授業形態	実験・	SGD	
	受業の概要 般目標(G		能力を総合的に 薬剤師となるた。 タを科学的根拠 テーマを見つけ	活用することで薬剤! めに、、院生は策定し に基づき評価・判断し 論文を作成する能力	師として最善した研究計画1 た研究計画1 して必要な情! を修得する。	て十分な科学的根拠にの職責を果たすことができ実験・調査を身 なるなき実験・調査を身 でなるない。	できる。さらに、 尾施して充分なる い、研究指導担	医療現場におし 研究データを収 当教員との緊?	いて指導的立 集し、収集し 密な連携の下	場に立て た研究テ で自ら研	てる デー 研究	
	到達目標 (SBOs)	Į	品や食品の品質 医薬品や食品の	気、安全性及び有効性	tについて予済 対性につい	品の品質、安全性及び 則できる ②医薬品や食 て評価できる ④それら (る	品の品質、安全	≧性及び有効性	について判断	折できる	(3)	
	務経験のな 員による教)専門性に応じた研究								
	評価方法	ŧ	学研究科に提出ならず、研究科の性を保つためにについて1名の新規性、プレゼ	はさせ、さらに、2年次の全教員によって、研 、博士論文審査請求 主査ならびに2名の『 ンテーション能力、論	および3年次 F究の新規制 は、本研究科 副査の計3名 理的思考能力	・確認を適宜求める。 前期には院生による公、 、妥当性等について適 が認定する権威ある等 により予備審査を実施 力等を総合的に判断す 能力の確認のために実	、開研究成果報 宜指導をおこな 学術雑誌に論文 返、予備審査合れ ることにより、研	告会を開催し、 っていく。論文記 掲載許可が得 各後に公開本著 究科専任教授	研究指導担当 審査の厳格性 られた後とし 野査会を開催 会の出席者の	当教員の E及び透 、当該論 し、研究	つみ 明 文 の	
	準備学習 修上の注意		受け身の研究姿	そ勢ではなく、積極的7	な姿勢が求め	られる。特に関連論文	は、日頃から収	集し読み込むる	ことが必要で	ある。		
オ	フィスアワ	·—	指導教員に各自	1確認のこと								
	★計画 SBOs SBO								授	1114		
回 数	No.			授 業 内 容								
1	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
2	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
3	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
4	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
5	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
6	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
7	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
8	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
9	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
10	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
11	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
12	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
13	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
14	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
15	1~5	各院	生の研究遂行						演	習指	導教員	
+/L I.	l聿(莘孝·	名)出	版社名【ISBN】	指定なし								

指定なし

科目名医療分子機能化学特論授業コード220018BDP1単位数配当学科(学年)医療薬学研究科(1・2・3 年)時間数30AL 科										2	
当学科(学:	年) 医療薬学研究科	斗(1・2・3 年)				時間数	30	AL 科目		0	
担当者	山﨑 哲郎		開講学期	2020 年度	前期	必修·選択	選択	授業形態	講	、実習、	SGD
	基本骨格が存在性等についての 用の低下を防ぐ 不可欠である。 環を有する合成	Eする。従って、医薬品 品質を予測、評価そり ために化学的相互作 医薬分子機能化学特 および天然物医薬品	品の適正使用 して判断でき 用(配合変化 論では、合成 、ペプチド医	のためには、『 る能力が求めい におよび体内に な医薬品や天然 薬品、核酸医薬	医薬品の られる。 おける相 医薬品 薬品、糖) 骨格構造と官能 らに、調剤にお 日互作用) による の危険な相互作 医薬品等、医薬	能基等から、そ(らいては、医薬品質を予測、記 品質を予測、記 ■用を未然に防 品分子の骨格	の化学的安況 品の物性変化 評価そして判 ぐために、代	定性 とやす 断す 表的	や反原 薬理 (ること)な複	応 作 上 素
到達目標 (SBOs)	物が繁用される トできる。 4) 代表 用機序を化学的	根拠を説明できる。 3] 表的な複素環化合物で]に説明できる。 5) 代) コンピュー? を含む合成お	ターソフトを用し 3よび天然物医	いて医薬 薬品を列	品の立体構造が 可挙し、骨格構造	および受容体と きと官能基に関	の相互作用を連付けてそれ	をシミ れぞれ	ュレ [.] れの1	— 作
	1 42 1 / 1 1										
評価方法	レポートおよびロ										
							。予習復習は、	授業の前後	およ	び休	日
オフィスアワー 各担当教員のオフィスアワーと同じである。 場所:M-4 号棟 生薬学講座 薬化学講座											
業計画											
SBOs No		授 業 内 容									当
1)	医薬品に含まれる官	品に含まれる官能基の化学的性質に関する知識を確認し、理解する。									
2)	複素環と医薬品のか										﨑
3)	コンピューターソフトを	·用いて代表的な複素	環医薬品の	立体構造をシミ	ミュレート	して、理解する	-1。	実	習	山	崎
3)	コンピューターソフトを	用いて代表的な複素	環医薬品の	立体構造をシミ	ミュレート	して、理解する	-2 。	実	習	山	崎
3)	複素環医薬品の立体	構造のシミュレーショ	ンに関するレ	ポートを作成す	する。			実	習	山	﨑
3)	コンピューターソフトを	・ 用いて代表的な複素	環医薬品と	受容体との相互	作用を	シミュレートして	、理解する-1。	実	習	山	﨑
3)	コンピューターソフトを	用いて代表的な複素	環医薬品と	受容体との相互	作用を	シミュレートして	、理解する-2。	実	習	山	﨑
3)	複素環医薬品と受容	体との相互作用のシ	ミュレーション	·に関するレポ-	ートを作り	ずする。		実	習	山	﨑
1)2)	医薬品の開発、医薬	品の構造活性相関に	関して理解を	:深める-1				講	義	大	塚
1)2)	医薬品の開発、医薬	品の構造活性相関に	関して理解を	·深める-2				講	義	大	塚
1)2)4) 5)	ペプチドや糖類の医薬品の論文を検索し、作用機序を調べて討議する-1							S (G D	大	塚
1)2)4) 5)	ペプチドや糖類の医薬	薬品の論文を検索し、	作用機序を記	周べて討議する	5-2			S (G D	大	塚
1)2)4) 5)	論文を読み、内容につ	ついてレポートを作成し -	し、討議する-	-1				s	G D	大	塚
1)2)4) 5)	論文を読み、内容につ	 Oいてレポートを作成し	 _、討議する-	-2				s (G D	大	塚
1)2)4) 5)	研究発表を聞き発表	 内容について討議する	3					s	G D	大	塚
科書(著者名)出版社名【ISBN】 特になし。											
5/ fi	担当者 担当者 理論 理論 理論 理論 理論 理論 理論 理	担当者 山﨑 哲郎 現本使用されて存 (日本本) (日本) (日	担当者 山崎 哲郎 現在使用されている多くの医薬品は、基本骨格が存在する。従って、医薬品の低等・限日標(GIO) 現在使用されている多くの医薬品は、基本骨格が存在する。従って、医薬品の低生等についての品質を予測、評価化学内の低方を防ぐために化学的化学学表を化学的に解析でき、医薬品の能力を表し、 医薬品に含まれる代表的な官能動物が繁用される根拠を説明できる。 13 下できる。14 代表的な複素環化合物、月機序を化学的に説明できる。 15 代の作用機序を化学的に説明できる。 15 代の作用機序を化学的に説明できる。 15 代の作用機序を化学的に説明できる。 15 を担当の先生から講義の内容、予習を利用して、約1時間 / 講義 × 15 を担当の先生から講義の内容、予認を担当の先生から講義の内容、予習を担当の先生から講義の内容、予認を担当の先生から講義の内容、予認を担当の先生から講義の内容、予認を担当の方によりに表明な複素の方に、10 医薬品に含まれる官能基の化学的性質に対して、表明な複素のより、10 と薬品のがおりを理解する。 コンピューターソフトを用いて代表的な複素 3 コンピューターソフトを用いて代表的な複素 3 コンピューターソフトを用いて代表的な複素 3 な素環医薬品と受容体との相互作用のショコンピューターソフトを用いて代表的な複素 2 を薬品の開発、医薬品の構造活性相関に 10 と薬品の開発、医薬品の構造活性相関に 10 と薬品の開発、医薬品の構造活性相関に 10 と薬品の開発、医薬品の論文を検索し、10 と対 10	担当者 山崎 哲郎 開講学期 現在使用されている多くの医薬品は、合成又は天基本骨格が存在する。従って、医薬品の適正使用性等についての品質を予測、評価そして判断でき用の低下を防ぐために化学的相互作用(配合変化不可欠である。医薬分子機能化学特論では、合成選を有する合成および天然物医薬品、ペプチドド 能を化学的に解析でき、医薬品の品質の予測、計1) 医薬品に含まれる代表的な官能基を列挙し、物が繁用される根拠を説明できる。 [3) コンピューター作きる。 [4) 代表的な複素環化合物を含む合成は用機序を化学的に説明できる。 [5) 代表的な代表的なペプラの作用機序を化学的に説明できる。 [6] 代表的な複素環ル合物を含む合成は用機序を化学的に説明できる。 [6] 代表的な複素環ル合物を含む合成は用機序を化学的に説明できる。 [6] 代表的な複素環の内容、予習復習に関して多利当の作用といる。 [4] (5) (7) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	担当者 山崎 哲郎 閉講学期 2020 年度 現在使用されている多くの医薬品は、合成又は天然有機化合物 基本骨格が存在する。従って、医薬品の適正使用のためには、性等についての品質を予測、評価そして判断できる能力が求め、用の低下を防ぐために化学的相互作用に合変化込むな内に、「不可欠である。医薬分子機能化学特論では、合成医薬品や天然環を有する合成および天然物医薬品、ペプチド医薬品、核酸医乳能を化学的に解析でき、医薬品の品質の予測、評価そして判断が繁用される根拠を説明できる。 コンピューターソフトを用いたでも、14 代表的な複素環化合物を含む合成および天然物医薬品、(3) コンピューターソフトを用いてきる。 14) 代表的な複素環化合物を含む合成および天然物医 開機序を化学的に説明できる。 15) 代表的なペプチド、核酸および作用機序を化学的に説明できる。 16) 代表的なペプチド、核酸および作用機序を化学的に説明できる。 17 大場的なペプチド、核酸が多い作用機序を化学的に説明できる。 18 付出の注意等 を利用して、約1時間 / 講義 × 15回 = 約15時間以上必ずフィスアワー 各担当の先生から講義の内容、予習復習に関して指示があるのを利用して、約1時間 / 講義 × 15回 = 約15時間以上必ずフィスアワー 各担当教員のオフィスアワーと同じである。 1場所: M-4 号棟 生き計画	担当者 山崎 哲郎 開講学期 2020 年度 前期 現在使用されている多くの医薬品は、合成又は天然有機化合物であり、基本骨格が存在する。従って、医薬品の適正使用のためには、医薬品の概要・情報に対して制断できる能力が求められる。 「性等についての品質を予測、評価そして判断できる能力が求められる。 「大学に変素」を表する合成および天然物医薬品、ペプチド医薬品、核酸医薬品、機を化学的に解析でき、医薬品の品質の予測、評価そして判断できる能力が求められる。 「要素品に含まれる合成および天然物医薬品、ペプチド医薬品、核酸医薬品、機能を化学的に解析でき、医薬品の品質の予測、評価そして判断できる。 「別 医薬品に含まれる代表的な音能基を列挙し、その代表的な性質と反対物が繁用される根拠を説明できる。」 コンピューターソフトを用いて医系の作用機序を化学的に説明できる。 「以 代表的なペプチド、核酸および糖医薬の作用機序を化学的に説明できる。」 「代表的なペプチド、核酸および糖医薬品、大きにないます」と、その代表的なな、予留で国に関して指示があるので、大きにないまの作用機序を化学的に説明できる。 「場所:Mー4 号棟 生薬学講の方法との注意等 を担当の先生から講義の内容、予留で国に関して指示があるので、大きにの主義に多な生から講義の内容、予留で国に関して指示があるので、大きにの主義にある。 「場所:Mー4 号棟 生薬学講の を担当の先生から講義の内容、予留で国に関して指示があるので、大きにの主義に与ないまの作用を を利用して、約1時間 / 講義 × 15回 = 約15時間以上必ず行うことを利用して、約1時間 / 講義 × 15回 = 約15時間以上必ず行うことを利用して、約1時間 / 講義 × 15回 = 約15時間以上必ず行うことを利用して、約1時間 / 対義 ※ 内容	担当者 山崎 哲郎 開講学期 2020 年度 前期 必修・選択 現在使用されている多くの医薬品は、合成又は天然有機化合物であり、それぞれの医薬 基本骨格が存在する。従って、医薬品の適正使用のためには、医薬品の骨格構造と管性等についての品質を予測、評価そして判断できる能力が求められる。さらに、調剤によれ可欠である。医薬分子機能化学特論では、合成医薬品や資料を関係なわれるがよりにもいたがながある。医薬分子機能化学特論では、合成医薬品や大器医薬品の危険な相互作類を有する合成および不然医薬品の品質の予測、評価そして判断できる能力が定められる。さらに、調剤による質を有する合成および不然医薬品の品質の予測、評価そして判断できる能力を培うことを目り、医薬品に含まれる代表的な盲能基を列挙し、その代表的な性質と反応性について説がが繁用される視機を説明できる。13 コンピューターソフトを用いて医薬品の分別と、骨格構は「無情学習・各担当の先生から講義の内容、予習復習に関して指示があるので、その指表に受いて開発を自分を含む合成および天然物医薬品を列挙し、骨を信学習・各担当の先生から講義の内容、予習復習に関して指示があるので、その指示に従うことをもの作用機序を化学的に説明できる。19 代表的なベブチド、核酸および糖医薬品を列挙し、骨を担当の先生から講義の内容、予習復習に関して指示があるので、その指示に従うことをもの注意のとき 20 世界の大生から講義の内容、予習復習に関して指示があるので、その指示に従うことをもの注意のより、19 世界の大生から調査の対象を確認し、理解する。 20 セデカリトして、対り時間 / 講義 × 15回 = 約15時間以上必ず行うこと。 24スアワー 各担当教員のオフィスアワーと同じである。 場所:M-4 号棟 生薬学講座 薬化学講座 計画 SBOs	担当者 山崎 哲郎 開講学期 2020 年度 前期 必修 選択 選 択 現在使用されている多くの医薬品は、合成又は天然有機化合物であり、それぞれの医薬品分子には様 基本骨格が存在する。従って、医薬品の適正使用のためには、医薬品の骨格構造と官能基等から、それぞれの医薬品分子には様 基本骨格が存在する。従って、医薬品の適正使用のためには、医薬品の骨格構造と官能基等から、それぞれの医薬分子機能化学特別で多る能力が取られる。さらに、調剤においては、医薬用の低下を防ぐために化学的相互作用。配合変化および体内における相互作用による品質を予測、影で多有する合成なよび天然物医薬品、ペプチド医薬品、残酸医薬品、棚屋業品・医薬品分子の骨格・能を化学的に解析でき、医薬品の品質の予測、評価モレて判断できる能力を培うことを目的とする。 1) 医薬品に含まれる代表的などので食能差の手型、その代表的な性質と反応性について説明できる。(2) 時間の低下される機能を説明できる。(3) コンピューターソフトを用いて受薬品の血質なおよび天然物医薬品を列挙し、骨格構造と官能がの作用機序を化学的に説明できる。(3) コンピューターソフトを用いて産素品のか体構造と官能がある。 1) 上ボートおよび口頭発表を総合的に評価する。詳細の評価基準は、第1回の講義で説明する。 1) 世帯の方法 レボートおよび口頭発表を総合的に評価する。詳細の評価基準は、第1回の講義で説明する。 1) 上が一トおよび口頭発表を総合的に評価する。詳細の評価基準は、第1回の講義で説明する。 1) 上が一トおよび口頭発表を総合的に評価する。詳細の評価基準は、第1回の講義で説明する。 2) を利用して、約1時間 / 講義 × 15回 = 約15時間以上必ず行うこと。 2) おり、日本の先生から講義の内容、予留復習に関して指示があるので、その指示に従うこと。予習復習は、を利用して、2) 特別では、2000年である。「場所: M-4 号棟 生薬学講座 薬化学講座 オーススアワーと同じである。「場所: M-4 号棟 生薬学講座 薬化学講座 オーターソフトを用いて代表的な複素環医薬品の立体構造をシミュレートして、理解するー1。 2) コンピューターソフトを用いて代表的な複素環医薬品の立体構造をシミュレートして、理解するー2。 3) コンピューターソフトを用いて代表的な複素環医薬品と受容体との相互作用をシミュレートして、理解するー2。 3) コンピューターソフトを用いて代表的な複素環医薬品と受容体との相互作用をシミュレートして、理解するー2。 3) は素環医薬品と受容体との相互作用をシミュレートして、理解するー2。 3) は素環医薬品と受容体との相互作用をシミュレートして、理解するー2。 3) 複素環医薬品と受容体との相互作用をシミュレートして、理解するー2。 1) 医薬品の開発、医薬品の構造活性相関に関して理解を深めるー1 1) 医薬品の開発、医薬品の構造活性相関に関して理解を深めるー1 1) (2) 医薬品の開発、医薬品の論文を検索し、作用機序を調べて討議するー1 1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (6) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	担当者 山崎 智郎 関語学期 2020 年度 前期 必修 選択 選 択 授業形態 現在使用されている多くの医薬品は、合成又は天然有機化合物であり、それぞれの医薬品分子には様々な官能基 基本育体が存在する。後で、医薬品の通正使用のためには、医薬品の脊椎構造と官能基等から、その化学の地質についての品質を予測、評価をして判断で含めたから、さらに、割削においては、医薬品の物性変質 用の低下を防ぐために化学的相互作用(配合変化および体内における相互作用)による最資を予測、評価をして判断できるを服力を表しまして判断できる際品の危険な利理を用きたただっために、代理を有する合成および天然物医薬品、ベブチト医薬品、核医薬品・粉度素品等、医薬品分子の骨格構造さよび 能を化学的に発析でき、医薬品の自食の予測 評価をして判断できる 民産品の治療 と薬品の治療 おいて知りに必要する (SBOs) 1) 医薬品に含まれる代表的な育能基を対学し、その代表的な性質と反応性について説明できる。(2) 医薬品とうの骨格構造ともどり かが無用される機動と説明できる。(3) コンピューターソフトを用いて容素の立な体情とかどの学なたの相互作用・たきない の作用機序を化学的に説明できる。(3) コンピューターソフトを用いて容素の立な体情とかどの学なたの相互作用・たきない の作用機序を化学的に説明できる。(3) コンピューターソフトを用いて容素の立な体情とかどの学なたの相互作用・たきない の作用機序を化学的に説明できる。(3) コンピューターソフトを用いての素のの形象・予留を質に関して指示があるので、その指示に従うこと、予習後習は、授業の前後を上の注意等を利用して、約1時間 / 講義 × 15回 = 約15時間以上必ず行うこと。 アコスアワー 各担当教員のオフィスアワーと同じである。場所・M-4 号棟 生薬学講座 薬化学講座 茅計画 SBOs 授業理と率から講義の内容、予留を質に関して指示があるので、その指示に従うこと、予習後習は、授業の前後を発達ので、2 検索理と薬品のかかわりを理解する。 講 大型に関するの体構造をシミュレートして、理解するー1。 第 580	担当者 山崎 哲郎 関議学期 2020 年度 前期 必修選択 選 択 授業形態 計 現在使用されている多くの医薬品は、合成又は天然有機化合物であり、それぞれの医薬品分子には様々な官能基と特 基本育体が存在する。後って、医薬品の通正使用のためには、医薬品の育格構造と官能基等から、その化学の安定性 使等についての起質を予期、経過セして判断で含め能力が失められる。さらに、調剤においては、医薬品の物性変化や 限し程(GIO)	担当者 山崎 哲郎 開議学期 2020 年度 前期 必修 選択 選 択 授業形態 無 類 現在使用されている多くの医薬品は、合成又は天教有機化合物であり、それぞれの医薬品分子には様々な可能基と特徴的 基本資格が存在する。從って、医薬品の適正使用のためには、医薬品の骨格構造と管能基等から、その化学的安定性や反対 中場ではついての品質を予測、評価そして判断できる能力が求められる。さらに、請別においては、医療品の物性変化や薬剤 現場では、つかしたの品質を予測、評価そして判断できるよび大格のに表がないの品質を予測、評価そして判断できるよび大格のに表がない。 また 一切の に を

	科目名	東洋医薬学特詞	侖				授業コード	220019BDP1	単位数	2	
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	斗(1•2•3 年)				時間数	30	AL 科目	0	1
	担当者	大塚 功		開講学期	2020 年度	前期	必修∙選択	選択	授業形態	講義、実習	, SGD
	受業の概要 般目標(Gi	力維持、免疫機 要性に対応でき こで個々の生薬 天然物の品質! では、漢方処方 知識をふまえ臨	齢社会においては複 能更新をはかる代替 ると期待されている。 や漢方処方の品質を こ基づき、個々の患者 に含まれる各生薬の 床の場での効果や副	補完的な医療事実、生薬や予測、評価でおけるそれ 基本的性質、 【におけるそれを となるとれる。 「作用を予測、	療が必要となった。 漢方薬等の見 として判断でき いの薬効を予 各生薬の品質 、評価し、適切	ている。 E然物が る能力が 測、評価 で保る な投薬が	日本では、伝統 現在の医療現り が求められる。ま 最そして判断でき 要素、他生薬や まを判断できる食	に医療である東 湯において重要 た、生薬や漢フ る能力は重要 他治療薬との も力を培うことを	羊医薬学がこの な役割を担って ち処方の成分に である。東洋医 目互関係を学び :目的とする。)ような こいる。 :含まれ 薬学特 、これ	必そる論らの
	到達目標 (SBOs)	に及ぼす影響を の役割と、他の	方処方について、それ 説明できる。 3)自然 医療との関連性を概	界から得られ							
	務経験のな 員による教										
	評価方法 準備学習・		コ頭発表を総合的に	評価する。							
	キ岬チョ 多上の注意		・見いだし、それを解り	月する態度が	必要である。	受業時間	引外に 15 時間 <i>の</i>)学習を行うこと			
オフィスアワー 随時。アポイントメントをとること。 通常は薬学棟(4 号棟)6 階生薬学講座(M604)に在室している。											
授業 回 数	計画 SBOs No.		授業内容								 旦当
1	1)~4)	代表的な漢方処方と	漢方処方と含まれる生薬、天然物を分類し、理解する。								塚
2	2)3)	薬用植物の薬効成分	を調べ理解する。-1						講義・演習	大	塚
3	2)3)	薬用植物の薬効成分	を調べ理解する。-2						講義・演習	大	塚
4	2)3)	自然界に存在する天	然医薬品について調	べ、討議する	_o –1				講義・演習	大	塚
5	2)3)	自然界に存在する天	然医薬品について調	べ、討議する	_° –2				講義・演習	大	塚
6	2)3)	生薬・天然物に関する	る最新の研究について	で調べ、討議で	する。−1				講義・演習	大	塚
7	2)3)	生薬・天然物に関する	る最新の研究について	で調べ、討議で	する。−2				講義・演習	大	塚
8	1)~4)	学習の成果を発表し、	、討議する。						SGI	大	塚
9	3)4)	現代における漢方の	適応についての資料を	を調べ、討議	する。−1				講義・演習	渥	美
10	3)4)	現代における漢方の	適応についての資料	を調べ、討議	する。 −2				講義・演習	渥	美
11	3)4)	各生薬を構成する薬	用植物とそれらの産り	也を調べ、討詞	義する。−1				講義・演習	渥	美
12	3)4)	各生薬を構成する薬	生薬を構成する薬用植物とそれらの産地を調べ、討議する。-2						講義・演習	渥	美
13	3)4)	薬用植物の産地間で	の種差を調べ理解す	る。-1					講義・演習	渥	美
14	3)4)	薬用植物の産地間で	の種差を調べ理解す	る。-2					講義・演習	渥	美
15	1)~4)	学習の成果を発表し、	、討議する。						SGI	渥	美
教科	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	なし								
参考	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	なし								

	科目名	臨床分析化学特	寺論				授業コード	220020BDP1	単位数		2	
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	以(1·2·3 年)				時間数	30	AL 科目		0	
	担当者	田原 佳代子		開講学期	2020 年度 [前期	必修·選択	選択	授業形態	講義、另	実習、S	SGD
	業の概要 般目標(G	り、定性・定量の 場における医薬 (O) それらの技術の の分析対象につ 分析技術の原理	ダーメイド医療」実現のかための分析技術はかられるの適正使用のみてい発展には目覚ましいのいて最適な分析方法型と実際の応用例にで	必須となってし でなく、その製 ものがあるか まを開発するf ついて学び、B	いる。また、科学的 造過程や保存に いきめの細かい 能力を備えている	的な分れ おいて オーダ・ ることが こされる	所技術に基づし も不可欠である ーメイド医療を 望ましい。本特 分析法開発能	た品質の予測 る。医薬品の体 実現するために 論では、臨床分 力の修得を目標	、評価、判断に 内薬物濃度測は、臨床薬剤 けいられ そしました。	ま、臨 定を1 師が れる様	床する しょう	現) 々 な
	到達目標 (SBOs)	療的薬物モニタ 説できる。 4) 臨 られている主な 物の測定法に関	分野で用いられる代ま リング(TDM)の意義 i床分析で汎用されて 検出法について概説 まする論文を検索し、	と、TDM に用 いる分離分れ できる。 6) 既	いられる主な分れ 所法(HPLC と電気	析法(イ 気泳動) な欧文の	、ムノアッセイと)の実施法と応)論文に書かれ	HPLC)の原理。 用例を概説でき	および応用例 そる。 5) 臨床タ	につし 分析で	いて 語	概 ハ
	务経験のな 員による教											
<u> </u>	評価方法 集備学習 8上の注意	薬学部薬学科の	およびロ頭発表より、 D分析化学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 注法が必要です。自身 こと。	[、機器分析学	之、応用機器分析							
	フィスアワ	一 毎週水曜日 17:	00~19:00									
授業	計画 SBOs								授美	Ě		
数	No.		授業内容								担	
1	1)		分析の意義や役割を確認し、分析方法の特徴を理解する。								田	-
2	1), 2)	生体試料の取扱い法	体試料の取扱い法を確認し、最新の前処理法について検索し、討議する								全	
3	1)~7)	臨床分析の方法に関 	する最新の研究内容	『を検索し、討 ────	·議する。 				SG	D 1	全	員
4	2)~5)	免疫反応を用いた分	析法の原理、実施応	用例について	学ぶ。				講	義	田	原
5	1)~5)	生体試料の取扱い法	と分析方法について	実地に学び、	討論する。				実習、S	GD 1	全	員
6	2)~5)	治療的薬物モニタリン	ッグ(TDM)の分析方法	去に関する問	題点を挙げ討議	する。			S G	D 2	全	員
7	1)~7)	臨床分析に関連する:	最新の英文論文を検	索し、選択し	て討議する。				SG	D 1	全	員
8	1)~7)	論文を読み内容につ	いて討議する。						S G	D 3	全	員
9	1)~7)	論文を読み内容につ	いて討議する。						SG	D 3	全	員
10	1)~7)	学習の主題との関連	から、論文の内容を要	要約し、発表し	て討議する。				S G	D 3	全	員
11	1)~7)	学習の主題との関連	から、論文の内容を要	要約し、発表し	て討議する。				SG	D 2	<u></u> 全	員
12	1)~7)	学習の主題について	学習の主題についてレポートを作成して討議する。							D 1	全	員
13	1)~7)	学習の主題について	レポートを作成して討	議する。					S G	D 1	全	員
14	1)~7)	学習の主題について	発表して討議する。						S G	D 1	全	員
15	1)~7)	学習の主題について	発表して討議する。						S G	D 3	全	員
教科	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	特定の教科書は使	用しない						•		
参考	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	必要に応じレジュメ	 を配布							-	

	科目名	応用薬剤学特証	<u> </u>				授業コード	220021BDP1	単位数		2	
配	当学科(学	年) 医療薬学研究科	斗(1•2•3年)				時間数	30	AL 科目		0	
	担当者	横山 祥子		開講学期	2020 年度	前期	必修•選択	選択	授業形態	講義	, SG	àD
	美業の概要 般目標(GI	となる。薬物のない ドラッグデリバリ 位から作用部位状態などを判断 どのドラッグキャ	とな構造をもつものが分解を速度論的に解れ 一システム(DDS)を開 に到達するためには できる能力も薬物のよう。 できる能力も薬物のようにと物性目	所でき、安定り 引発し、薬物の 多くの生体膊 品質確保に大評価などの気 的とする。	性を予測、薬物)体内分布、動 (バリアーを通じ 、きく貢献する。 の の の の の は の は に を の の の は に を の の は に を の の の の の の の の の の の の	が作用態を評価 しなけ そのたと 薬品の開	部位において充 西、判断できる自 ればならず、生 か、応用薬剤学 見発と薬物治療・	のな活性を発現 と力が重要であ 体膜の構造、生 特論では、薬物 への応用として	現、副作用を感る。また、薬物 をは膜中への の安定化、リ 薬物の分布も	軽減さ 物が投 薬物の ポポリー 状態を	せる は与音 の分 ーム ⁷ 測定	が形布ない
	到達目標 (SBOs)	定化のための名 構造、生体膜バ 提案し討議でき	応の速度論を概説でき ・種化学的、物理的手 ・リアー、膜透過につしる。8) 主な医薬品(薬	法について いて概説でき	既説できる。 4) る。6) 薬物動態	ドラック 焦につい	デリバリーシス て説明できる。	テムについて棚 7) 主な医薬品	既説できる。 5)生体	体膜(の
	务経験のな 員による教	451 731										
	評価方法	レポート 50%お	よび口頭発表 50% <i>の</i>)合計点で評	価する。							
	準備学習・ 多上の注意	1 1	5 時間の学習を行うこ	<u>-</u> ک								
オ	フィスアワ	一 授業日の授業時	時間の前後数時間 薬	学棟 4F 各研	开究室							
	計画	•							150	MI¢.		
回数	SBOs No.			授	業 内 容				授 方 方		担当	当
1	1)2)	薬物の分解反応に関	の分解反応に関する知識を確認して理解する。								横	Щ
2	1)2)3)	薬物の分解反応と安	定化に関する研究内容	容を検索し、	討議する。				S G	D	横(Щ
3	1)2)3)	薬物の分解反応と安	定化に関する論文を記	売み内容を討	計議する。				S G	D	横(Щ
4	4)	ドラッグデリバリーシス	ステム(DDS)に関する	知識を確認し	て理解する。				講	義	堤	
5	4)	DDS に関する研究内	容を検索して討議する	3.					S G	D	堤	
6	2)3)4)	DDS に関する論文を	読み内容について討	議する。					S G	D	堤	
7	5)6)	生体膜、膜透過、薬物	動態に関する知識を	確認して理解	解する。				講	義	日 i	高
8	5)6)	生体膜、膜透過、薬物	動態に関する研究内	P容を検索し	て討議する。				S G	D	日 i	高
9	5)6)	生体膜、膜透過、薬物	動態に関する論文を	読み内容を	討議する。				S G	D	日 i	高
10	1)~8)	薬物の安定化、DDS	に関する問題点をあり	げ課題を設定	こして討議する。				S G	D	鈴 :	木
11	1)~8)	課題に基づいて学習	の主題を設定し、その	意義を発表	して討議する。				S G	D	鈴 :	木
12	1)~8)	学習の主題に関連す	る最新の英文論文を	検索し選択し	て討議する。				S G	D	鈴 :	木
13	1)~8)	学習の主題との関連	から論文を読み内容を	生要約し発表	 して討議する。				S G	D	全	員
14	1)~8)	学習の主題について	発表し、討議する。						S G	D	全 .	員
15	1)~8)	討議をふまえてレポー	-トを作成し、討議する	,)。					S G	D	全	員
教科	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	なし							•		
										_	_	

	T	G	5 aa .				122 3114 1 1 1		224 1 344		
	科目名	医療薬学基礎演	<u> </u>				授業コード	220022BDP1	単位数		2
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	以(1•2•3 年)		T		時間数	30	AL 科目		0
	担当者	山﨑 哲郎		開講学期	2020 年度			必 修	授業形態		GD, 演習
	養業の概要 般目標(GI	合的に活用でき 化していく能力の 局、保険薬局、	員習 Ⅰ では、これまで ることを目的としてい の向上を目指す。具々 在宅医療の場におい ☑価し総括する能力を	る。即ち、薬 体的には、医療 て、問題点を	剤師業務の「 療現場での種	ロで、レギ: マの設定	ュラトリーサイエ こにおけるシミュ	ンスの品質の根レーションを演習	既念に基づ 習形式で体	き業務 験し、	を最適 病院薬
	到達目標 (SBOs)	リーサイエンス(づき業務を最適	おいて、レギュラトリー D品質の概念に基づ 化できる。								
	答経験のな 員による教		、鈴木彰人(薬・薬)、	徳永仁(薬・	薬)、日高宗	月(薬•薬)					
	評価方法		コ頭発表を総合的に							V 46	
	準備学習・ 多上の注意		当の先生から内容の ⁻ 約1時間 / 講義 ×					こと。予習復習	は、授業の	前後	および休
才	フィスアワ	ー 各担当教員のオ	フィスアワーと同じて	 :ある。							
	授業計画										
回数	SBOs No.			授;	業 内 容					受業 5法	担当
1	1)	病院薬局業務におけ	薬局業務における医薬品の品質予測ができる。								
2	1)	病院薬局業務におけ	薬局業務における医薬品の品質評価ができる。								
3	1)	病院薬局業務におけ	る医薬品の品質の判	断ができる					演	習	山崎
4	1)	病院薬局業務におけ	る医薬品の品質の最	適化ができる	5.				演	習	山崎
5	1)	病院薬局業務におけ	る医薬品の品質を総	合的に討議す	する 。				S	G D	大塚
6	2)	保険薬局業務におけ	る医薬品の品質予測	ができる。					演	習	大 塚
7	2)	保険薬局業務におけ	る医薬品の品質評価	ができる。					演	習	大塚、渥美
8	2)	保険薬局業務におけ	る医薬品の品質の判	断ができる。					演	習	大塚、渥美
9	2)	保険薬局業務におけ	る医薬品の品質の最	適化ができる	5.				演	習	田原
10	2)	保険薬局業務におけ	る医薬品の品質を総	合的に討議す	する 。				s	G D	田原
11	3)	在宅医療業務におけ	宅医療業務における医薬品や品質安全性予測ができる。							習	田原
12	3)	在宅医療業務におけ	る医薬品の品質評価	ができる。					演	習	田原
13	3)	在宅医療業務におけ	る医薬品品の品質の	判断ができる	5 .				演	習	鈴木、徳永、日高
14	3)	在宅医療業務におけ	る医薬品の品質の最	適化ができる	5.				演	習	鈴木、徳永、日高
15	3)	在宅医療業務におけ	る医薬品の品質を総	合的に討議す	する。 				S	G D	鈴木、徳永、日高
教科	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	なし								

担当音		科目名	免疫化学療法学	丝特論				授業コード	220023BDP1	単位数		2	
議議規制では、通度の免疫反応や自己組織に対する誤った免疫反応上よるアレルギーや自己免疫疾患について正しく理解・評価するために、免疫化学機法学的高額から療施しなる。免疫化学機法学特高では、アレルギーなど免疫疾患を引き起こす。同能はの予止・療法・原産の主義を出た。大きないて、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の関係に対して、免疫性の対した、免疫性の発性を使用して、免疫性の関係に対して、力・して、力・して、力・して、力・して、力・して、力・して、力・して、力・	配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	斗(1・2・3 年)				時間数	30	AL 科目		Ol	
投来の概要・		担当者	黒川 昌彦		開講学期	2020 年度	後期	必修·選択	選択	授業形態	講	轰、実習、🤆	SGD
野連目標 (SBOs)			価するために、1 可能性の予測、 O) るために、免疫: 理解して、過度(できる能力を修	免疫化学療法学的知 評価、判断する能力: 系の構成、抗原認識の の免疫反応や自己組 得する。	識や技能が! を養い、病態 の原理などの 織に対する!i	必修となる。免 や薬効を客観) 基礎知識や概 号った免疫反応	疫化学療的に評価では、免疫である。 たいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう か	療法学特論では 面することで医療 返担当細胞や組 プレルギーや自i	、アレルギーな の実践と進歩し 織、免疫あるい 己免疫疾患のう	ど免疫疾患 こ貢献でき は生体防 予測、評価	息を引きる薬剤 御の仕 、そして	き起こり師となる。組みる	すなをが
教員による教育 た接条を行う。		(SBOs)	について、治療: 列挙できる。 5) を病態と併用薬	薬に求められる作用材 主な免疫系疾患治療 の観点から推測でき	幾序を病態に 薬の副作用 る。 7) 主な免	基づき説明で の発現機序を 2疫系疾患治療	きる。 4) 説明でき §薬につし	主な免疫系疾 る。 6) 主な免疫 ハて、副作用を[患治療薬の副作 変系疾患治療薬 防止・改善する	F用や使用 について、 方法を討講	上の問 副作月 し説明	問題点 目の発 目できる	を 現 る。
評価方法				田・佐藤)は、臨床現:	場や研究機関	貞での実務経 り	剣に基づ	き、臨床現場で	必要な基礎知詞	戦・技能の₫	修得を	目的と	:L
接条上の注意等 に15時間の学習を行うこと。			ポート、プロダク 明する。	ト評価や口頭試問時	の理解度、摂	受業態度)の評	点を 100	%として単位認知	定を行う。評価の	の基準は授	業開始	台日に	説
接来計画					Elajimio opije	,o		, , , , , ,			11221	-31-371	
図数			一 各担当教員のオ	フィスアワーと同じで	たある。								
1 1) 医薬品の作用を免疫学的実験で観察し、理解する。 実習 担当負 2 2334) 各免疫系疾患の病態と薬物治療に関する知識を確認し、理解する。 講義 黒 川 3 2334) 免疫系疾患の薬物治療に関する最新の研究内容を検索し、討議する。 S G D 佐 藤 4 3345) 免疫系疾患の薬物治療の問題点をあげ課題を設定し、討議する。 S G D 佐 藤 5 6)7) 課題に基づいて学習の主題を設定し、その意義を発表して討議する。 S G D 佐 藤 6 5)6)7) 学習主題に関連する最新の英文論文を検索し、選択して討議する。 S G D 佐 藤 7 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 佐 藤 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 佐 藤 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 9 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 10 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 10 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 11 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 12 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 S G D 吉 田 11 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 S G D 黒 川 13 5)6)7) 学習の主題についてレポートを作成して討議する。 S G D 黒 川 14 1)~7) 学習の主題についてを表し、討議する。 S G D 黒 川 15 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 S G D 黒 川 数科書(著者)出版社名[ISBN] なし	回	SBOs				 業内容						担当	—— 当
3 2)34) 免疫系疾患の薬物治療に関する最新の研究内容を検索し、討議する。 SGD 佐藤 4 3)4)5) 免疫系疾患の薬物治療の問題点をあげ課題を設定し、討議する。 SGD 佐藤 5 6)7) 課題に基づいて学習の主題を設定し、その意義を発表して討議する。 SGD 佐藤 6 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 SGD 佐藤 8 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 SGD 吉田 9 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 SGD 吉田 10 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 SGD 吉田 11 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 SGD 吉田 12 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 SGD 黒川 13 5)6)7) 学習の主題について上ボートを作成して討議する。 SGD 黒川 14 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 SGD 黒川 15 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 SGD 黒川 数料 (SGD 黒川 数料 (SGD 黒川			 医薬品の作用を免疫	学的実験で観察し、理	 里解する。							担当全	 } 員
43)4)5)免疫系疾患の薬物治療の問題点をあげ課題を設定し、討議する。S G D 佐藤56)7)課題に基づいて学習の主題を設定し、その意義を発表して討議する。S G D 佐藤65)6)7)学習主題に関連する最新の英文論文を検索し、選択して討議する。S G D 佐藤75)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 佐藤85)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 吉田95)6)7)学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。S G D 吉田105)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 吉田115)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 吉田125)6)7)学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。S G D 黒川135)6)7)学習の主題についてと表し、計議する。S G D 黒川141)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒川151)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒川数料書(著者3)出版社名[ISBN]なし	2	2)3)4)	各免疫系疾患の病態										
5 6)7) 課題に基づいて学習の主題を設定し、その意義を発表して討議する。 S G D 佐 藤 6 5)6)7) 学習主題に関連する最新の英文論文を検索し、選択して討議する。 S G D 佐 藤 7 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 9 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 S G D 吉 田 10 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 11 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 12 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 S G D 黒 川 13 5)6)7) 学習の主題についてと赤し、計議する。 S G D 黒 川 14 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 S G D 黒 川 15 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 S G D 黒 川 3 5 日 サント サント 3 5 日 サント サント 4 1)~7) 学習の主題について発表し、計議する。 S G D 黒 川 5 6 月 サント サント 6 7 日 サント サント 7 8 日 サント サント 8 8 日 サント サント 9 8 日 サント サント 9 9 日 サント サント <t< td=""><td>3</td><td>2)3)4)</td><td>免疫系疾患の薬物治</td><td>療に関する最新の研</td><td>究内容を検索</td><td>素し、討議する</td><td>0</td><td></td><td></td><td>S</td><td>G D</td><td>佐</td><td>藤</td></t<>	3	2)3)4)	免疫系疾患の薬物治	療に関する最新の研	究内容を検索	素し、討議する	0			S	G D	佐	藤
65)6)7)学習主題に関連する最新の英文論文を検索し、選択して討議する。S G D 佐 藤75)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 店 田95)6)7)学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。S G D 吉 田105)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 吉 田115)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 吉 田125)6)7)学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。S G D 黒 川135)6)7)学習の主題についてレポートを作成して討議する。S G D 黒 川141)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒 川151)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒 川数科書(著者名)出版社名[ISBN]なし	4	3)4)5)	免疫系疾患の薬物治	療の問題点をあげ課	題を設定し、	討議する。				S	G D	佐	藤
7 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 佐 藤 8 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 9 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 S G D 吉 田 10 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 11 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 12 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 S G D 黒 川 13 5)6)7) 学習の主題についてレポートを作成して討議する。 S G D 黒 川 14 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 S G D 黒 川 数科書(著者名)出版社名[ISBN] なし	5	6)7)	課題に基づいて学習の	の主題を設定し、その	意義を発表	して討議する。				S	G D	佐	藤
8 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。	6	5)6)7)	学習主題に関連する	最新の英文論文を検	索し、選択し	て討議する。				S	G D	佐	藤
9 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 S G D 吉 田 10 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 吉 田 11 5)6)7) 論文を読み内容について討議する。 S G D 惠 川 12 5)6)7) 学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。 S G D 黒 川 13 5)6)7) 学習の主題についてレポートを作成して討議する。 S G D 黒 川 14 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 S G D 黒 川 15 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 S G D 黒 川 教科書(著者名)出版社名【ISBN】 なし	7	5)6)7)	論文を読み内容につ	いて討議する。						S	G D	佐	藤
105)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 吉 田115)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 吉 田125)6)7)学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。S G D 黒 川135)6)7)学習の主題についてレポートを作成して討議する。S G D 黒 川141)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒 川151)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒 川教科書(著者名)出版社名【ISBN】なし	8	5)6)7)	論文を読み内容につ	いて討議する。						S	G D	吉	田
115)6)7)論文を読み内容について討議する。S G D 吉 田125)6)7)学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。S G D 黒 川135)6)7)学習の主題についてレポートを作成して討議する。S G D 黒 川141)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒 川151)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒 川教科書(著者名)出版社名【ISBN】なし	9	5)6)7)	学習の主題との関連	から、論文の内容を要	契約し、発表し	て討議する。				S	G D	吉	田
125)6)7)学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。S G D 黒 川135)6)7)学習の主題についてレポートを作成して討議する。S G D 黒 川141)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒 川151)~7)学習の主題について発表し、討議する。S G D 黒 川教科書(著者名)出版社名【ISBN】なし	10	5)6)7)	論文を読み内容につ	いて討議する。						S	G D	吉	田
13 5)6)7) 学習の主題についてレポートを作成して討議する。 SGD 黒川 14 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 SGD 黒川 15 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 SGD 黒川 教科書(著者名)出版社名【ISBN】 なし	11	5)6)7)	論文を読み内容につ	いて討議する。						S	G D	吉	田
14 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 S G D 黒 川 15 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 S G D 黒 川 教科書(著者名)出版社名【ISBN】 なし	12	5)6)7)	学習の主題との関連	から、論文の内容を要	要約し、発表し	て討議する。				S	G D	黒	Ш
15 1)~7) 学習の主題について発表し、討議する。 S G D 黒 川 教科書(著者名)出版社名【ISBN】 なし	13	5)6)7)	学習の主題について	レポートを作成して討	議する。					S	G D	黒	Ш
教科書(著者名)出版社名【ISBN】 なし	14	1)~7)	学習の主題について	発表し、討議する。						S	G D	黒	Ш
	15	1)~7)	学習の主題について	発表し、討議する。						S	G D	黒	Ш
参考書(著者名)出版社名【ISBN】 なし。	教科	書(著者名	名)出版社名【ISBN】	なし									
	参考	書(著者	名)出版社名【ISBN】	なし。									

	科目名	薬品作用学特証	⋒ I			授業コード	220024BDP1	単位数	2	
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	斗(1・2・3 年)			時間数	30	AL 科目	0	
	担当者	山本 隆一		開講学期	2020 年度 後期	必修·選択	選択	授業形態	講義、実習、SGD	
	後業の概要 般目標(GI	ことがある。その 欠となる。薬品(の) 欠となる。薬品(めた様々な病態 を修得する。近: 分子レベルでの	つため、医薬品の適正 作用学特論では、指導 を学び、それらの治 年の生命科学の進歩	E使用におい ⁻ 尊的立場に立 療薬の薬理作 を見据え、薬 受がある。薬品	方で、副作用が発生し、 て副作用発現の予測、 でことができる有能な 手用・作用機序から、特 物の作用機序について が、作用学特論 I では、眼 る能力を修得する。	評価、そして判り 医療人となるたる に副作用発現 <i>の</i> こは、臨床生化	断は、その安全 めに、主要な疾 O予測、評価、そ 学に基づく病態	性の確保にお 患の分子メカニ そして判断がで 生理学の知識	いて不可 -ズムを含 きる能力 も含めた	
	到達目標 (SBOs)	の病態を概説で 治療薬および検 理作用と関連さ	きる。 3) 眼疾患につ 査薬の副作用や使月 せ説明できる。 6) 主	いて、治療薬 用上の問題点 な眼疾患治療	説できる。 2) 緑内障治 および検査薬に求めら を列挙できる。 5) 主な 聚薬および検査薬につし 、、副作用を防止・改善	れる作用機序を 眼疾患治療薬を いて、副作用の	を病態に基づき および検査薬の 発現を病態と併	説明できる。 4. 副作用の発現 用薬の観点か)眼疾患 機序を薬	
	条経験のな 員による教									
	評価方法	3 回のレポート	および口頭発表を総合							
	準備学習・ 多上の注意		目について、講義内容 ので、各自で保管する		□成して復習を行うこと。 こ活用すること。	なお、課題の扱	是出物は、学期:	末の学習成果で	フィードバ	
オフィスアワー 各教員の時間を確認すること。										
	計画	<u> </u>						1- 416		
回 数	SBOs No.			授美	人 人 本			授業 方法		
1	1)	医薬品の作用を薬理	品の作用を薬理学的実験で観察し、説明する。							
2	2-4)	各眼疾患の病態と薬	現疾患の病態と薬物治療に関する知識を確認し、説明する。							
3	2-4)	眼疾患の薬物治療に	関する最新の研究内	容を検索し、	討議する。			SGI	D 山本, 鳥取部	
4	3-5)	眼疾患の薬物治療の	問題点をあげ課題を	設定し、討議	する。			SGI) 蒲 生	
5	6)7)	課題に基づいて学習の	の主題を設定し、その)意義を発表し	して討議する。			SGI	山本	
6	5-7)	学習主題に関連する	最新の英文論文を検	:索し、選択し [.]	て討議する。			SGI	油 生, 鳥取部	
7	5-7)	論文を読み内容につ	いて討議する。					SGI	o w、、、、 a thick 、 a thick	
8	5-7)	論文を読み内容につ	いて討議する。					SGI) 山本、倉、瀧生	
9	5-7)	学習の主題との関連	から、論文の内容を要	要約し、発表し	て討議する。			SGI	D 屾、搶、誰	
10	5-7)	論文を読み内容につ	いて討議する。					SGI	D 山本、蒲生	
11	5-7)	論文を読み内容につ	いて討議する。		,			SGI	D 山本、比佐	
12	5-7)	学習の主題との関連	学習の主題との関連から、論文の内容を要約し、発表して討議する。							
13	5-7)	学習の主題について	レポートを作成して討	議する。				SGI	D 山本、比佐	
14	1-7)	学習の主題について	発表し、討議する。					SGI	D 山本、比佐	
15	1-7)	学習の主題について	発表し、討議する。					SGI	D 山本、蒲生	
教科	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	なし							
参考	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	必要に応じレジュメ	を配布。						

	科目名	薬品作用学特論	⋒ Ⅱ			授業コード	220025BDP1	単位数	2	
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	以(1•2•3 年)			時間数	30	AL 科目	0	
	担当者	比佐 博彰		開講学期	2020 年度 後期	必修•選択	選択	授業形態	講義、SGD	
	養業の概要 般目標(GI	ことがある。その 欠となる。薬品イ 機序から、特に 機序については	のため、医薬品の適正 作用学特論では、主 副作用発現の予測、 に、臨床生化学に基づ 器系疾患と神経・血管	を使用においる 要な疾患の分 評価、そして で な病態生理学	方で、副作用が発生し、 て副作用発現の予測、 子メカニズムを含めたれ 判断ができる能力を修行 で知識も含めた分子レ を取り上げ、治療薬の副	評価、そして判り 兼々な病態を学 导する。近年のタ バルでの作用	断は、その安全 び、それらの治 生命科学の進む を見極める必要	性の確保におい 療薬の薬理作がを見据え、薬物である。薬品の	ヽて不可 用・作用 勿の作用 ∈用学特	
	到達目標 (SBOs)	1) 医薬品の主作 きる。 3) 各循環 用や使用上の問 主な循環器系療	作用・副作用が発現す 器系疾患について、 問題点を列挙できる。	治療薬に求め 5) 主な循環 副作用の発現	説できる。 2)心不全、2)られる作用機序を病態 器系疾患治療薬の副作 現を病態と併用薬の観。 きる。	に基づき説明 用の発現機序	できる。 4) 循環 を薬理作用と関	器系疾患治療 連させ説明でき	薬の副作 る。 6)	
	条経験のな 員による教									
	評価方法	3 回のレポートお	および口頭発表を総合							
	準備学習・ 多上の注意		、参加すること。 ネット	ワークに繋か	「る PC を各自用意する	こと。 毎回課題	を出すので、ク	マ回の授業まで	に完成さ	
	フィスアワ		~19:00 M403 室							
	計画	-							ı	
回数	SBOs No.			授 美	業 内 容			授業 方法	担当	
1	1)2)3)	病態と薬物治療の概	薬物治療の概略							
2	1)2)3)	発表と質疑応答						SGD	比佐	
3	3)4)5)	治療薬の種類と作用	(1) 討議					SGD	比佐·大倉	
4	3)4)5)	治療薬の種類と作用	(2) 討議・発表資料・	作成				SGD	比 佐	
5	3)4)5)	発表と質疑応答						SGD	比佐·大倉	
6	4)5)6)	治療薬の問題点(1)	討議					SGD	比佐	
7	4)5)6)	治療薬の問題点(2)	討議•発表資料作成					SGD	比 佐	
8	4)5)6)	発表と質疑応答、レホ	『一ト作成					SGD	比佐·大倉	
9	5)6)7)	治療薬の問題点への	対処(1)討議					SGD	比 佐	
10	5)6)7)	治療薬の問題点への	対処(2)討議・発表	資料作成				SGD	比佐	
11	5)6)7)	発表と質疑応答、レホ	ポート作成					SGD	比佐·大倉	
12	3)~7)	最新の知見(1)情報	収集•討議					SGD	比佐	
13	3)~7)	最新の知見(2)論文	講読∙討議					SGD	比 佐	
14	3)~7)	最新の知見(3)討議	・発表資料作成					SGD	比佐	
15	3)~7)	発表と質疑応答、レホ	ポート作成 					SGD	比佐·大倉	
教科	書(著者	名)出版社名【ISBN】	なし							
参考	書(著者	名)出版社名【ISBN】	必要に応じレジュメ	を配布。						

	科目名	医療公衆衛生薬	芝学特論				授業コード	220026BDP1	単位数			2	
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	4(1・2・3 年)				時間数	30	AL 科目			0	
	担当者	松野 康二		開講学期	2020 年度	後期	必修•選択	選択	授業形態	態	講	義、S	GD
	後業の概要 般目標(GI	連を学び、充分 る。医療公衆衛 境要因の疾病う 培うことを目的と		き、健康の維 養・食品、保値 性の予測・評	持・増進および 建統計と疫学、 価ができ、QO	び疾病の 感染症、 L の向上	予測、評価、判 生活習慣病、 および疾病の	断ができる能力 戦業病、毒性学 予防のための方	iを培うこ。 等につい i策が提言	とはて学	重要 ^色 び、 きる能	であ 各種 能力を) 賃環 を
	到達目標 (SBOs)	連を概説できる。 き、汚染防止対 きる。 6) 保健統 用できる。	重々の環境要因を列弩 , 3) 有害化学物質の 策について概説できる 計指標を列挙し、各打	毒性発現機 る。 5) 生活習	構および毒性の 習慣のリスクフ	の予測・i ァクターを	平価法について E列挙でき、その	概説できる。 4) 予防法を生活	環境汚線 習慣と関	物連つ	質が うけて	列挙 記明	きで 月で
	タ経験の 景による 教												
	評価方法	レポートおよび「	コ頭発表により、総合	的に単位認定	定を行う。								
	準備学習· 多上の注意		かに参加する。また、技	受業時間外を	使って、レポー	ト・発表	の準備等、15日	時間の学習を行	うこと。				
オ	フィスアワ	— 松野:月曜 17:0	00~18:00(M602 研究	(室)									
	計画	·								±∞ ÷	41¢		
回数	SBOs No.			授美	業 内 容					授 方		担	当
1	1)~4)	「健康と環境」概論								講	義	松	野
2	5)6)	「公衆衛生学」概論								講	義	松	野
3	7)	疫学的手法							;	S G	D	松	野
4	1)~7)	環境要因・生活習慣と の発表・討議	:疾病との関連につい	てのレポート	·作成·討議課	題に基づ	いて学習の主題	題を設定し、その	の意義	S G	D	松	野
5	1)~7)	学習主題に関連する:	最新の英文論文を検	索し、選択・詞	寸議				;	S G	D	黒	Ш
6	1)~7)	論文を読み、内容にて	ついての討議						;	S G	D	黒	Ш
7	1)~7)	論文を読み内容につ	ハての討議						;	S G	D	黒	Ш
8	1)~7)	学習主題に関連する	最新の英文論文を検	索し、選択・詞	寸議				;	S G	D	黒	Ш
9	1)~7)	論文を読み内容につ	ハての討議							S G	D	白	崎
10	1)~7)	論文を読み内容につ	ハての討議						;	s G	D	白	崎
11	1)~7)	学習の主題との関連	 から、論文の内容の§	要約∙発表∙討	 計議				,	S G	D	甲	斐
12	1)~7)	学習の主題について	のレポート作成・討議						;	S G	D	甲	斐
13	1)~7)	学習の主題についての	の発表・討議							S G	D	木	村
14	1)~7)	学習の主題について	の発表・討議						;	S G	D	木	村
15	1)~7)	学習の主題について	のレポート作成・討議							S G	D	木	村
教科	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	なし										
参考	書(著者	名)出版社名【ISBN】	必要に応じレジュメ	を配布。									

	科目名	医療薬学基礎湯	寅習Ⅱ				授業コード	220027BDP1	単位数		2	
配当	担当者				AL 科目		0					
	担当者	黒川 昌彦		開講学期	2020 年度	前期	必修·選択	必 修	授業形態	so	GD, 演習	
	担当者											
	(SBOs)	いて、安全性に かわる大きな問	かかわる大きな問題 題点を挙げ、解決策	点を挙げ、解 、手法、結果(決策、手法、約 の精査方法を	結果の精 討論する	査方法を討論す 。	-る。 3) 在宅医	療において	、安全	≧性にか	
				は、臨床現場	易や研究機関	での実務	経験に基づき、	医薬品の安全	生を正しい評	平価法	の修得	
,	評価方法	毎授業後に行う ポート、プロダク 明する。	ト評価や口頭試問時	の理解度、授	受業態度)の評	点を 100	%として単位認知	定を行う。評価の	の基準は授業	業開始	台日に説	
				足問点があれ	ば些細なこと	でも質問す	するなどしてすく	(に解決する態)	度が必要。	授業時	時間外	
				ごある 。								
		'							12	5 AIK		
回 数				授第	人 内容					受業 5法	担当	
1	1)	病院薬局業務におけ	る医薬品の安全性評	価ができる。					演	習	黒川·佐藤·吉田	
2	1)	病院薬局業務におけ	る医薬品の安全性の	判断ができる	ò.				演	習	黒川·佐藤·吉田	
3	1)	病院薬局業務におけ	る医薬品の安全性の	最適化ができ	きる。			演	習	黒川·佐藤·吉田		
4	1)	病院薬局業務におけ	薬局業務における医薬品の安全性評価ができる。 薬局業務における医薬品の安全性の判断ができる。 薬局業務における医薬品の安全性の最適化ができる。 薬局業務における医薬品の安全性を総合的に討議する。 即業務における医薬品の安全性の判断、評価、最適化ができる。							習	黒川·佐藤·吉田	
5		薬剤師業務における	医薬品の安全性の判	断、評価、最	適化ができる	0			SGD	•演習	黒川·佐藤·吉田	
6	2)	保険薬局業務におけ	る医薬品の安全性予	測ができる。					演	習	比:山本 白号: 劉章:清 生	
7	2)	保険薬局業務におけ	る医薬品の安全性評	価ができる。					演	習	推址批	
8	2)	保険薬局業務におけ	る医薬品の安全性の	判断ができる)。				演	習	姓山本語 語音	
9	2)	保険薬局業務におけ	る医薬品の安全性の	最適化ができ	きる。				演	習	LE-UA-OH-BRE-RE	
10		薬剤師業務における	医薬品の安全性の判	断、評価、最	適化ができる	0			SGD	・演習	推	
11	3)	在宅医療業務におけ	る医薬品の安全性予	 測ができる。					演	習	松野·木村·甲斐	
12	3)	在宅医療業務におけ	る医薬品の安全性評	価ができる。					演	習	松野·木村·甲斐	
13	一般目標(GIO) や薬効を客観的に評価することで医療の実践と進步に貢献できる薬剤師となるために、充分な科学的根拠に基 判譲直りを総合的に、第日できる能力を修得する。								演	習	松野·木村·甲斐	
14	3)	薬剤師業務における医薬品の安全性の判断、評価、最適化ができる。 保険薬局業務における医薬品の安全性評価ができる。 保険薬局業務における医薬品の安全性評価ができる。 保険薬局業務における医薬品の安全性の判断ができる。 保険薬局業務における医薬品の安全性の最適化ができる。 薬剤師業務における医薬品の安全性の制断、評価、最適化ができる。 本宅医療業務における医薬品の安全性予測ができる。 在宅医療業務における医薬品の安全性評価ができる。 在宅医療業務における医薬品の安全性評価ができる。 在宅医療業務における医薬品の安全性評価ができる。 在宅医療業務における医薬品の安全性評価ができる。 在宅医療業務における医薬品の安全性の判断ができる。 在宅医療業務における医薬品の安全性の判断ができる。 在宅医療業務における医薬品の安全性の制態化ができる。									松野·木村·甲斐	
15		薬剤師業務における	医薬品の安全性の判	断、評価、最	適化ができる	0			SGD	•演習	松野·木村·甲斐	
教科	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	なし									
参考	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	必要に応じレジュメ	を配布。								

	科目名	臨床薬学特論]	[授業コード	220028BDP1	単位数		2
配	当学科(学	年) 医療薬学研究科	斗(1・2・3 年)				時間数	30	AL 科目		0
	担当者	下堂薗 権洋		開講学期	2020 年度	前期	必修·選択	選択	授業形態	講義	養、SGD
	養業の概要 般目標(GI	新の知識を基にって、個々の患: ものである。そこづいて予測、評 その回避方法にいて学ぶ。また、	t、医薬品を適正に使 こ、患者への服薬指導 者に対する薬物療法 こで、臨床薬学特論 I 価そして判断できる前 こついての科学的根拠 、セルフメディケーショ	や医療従事 の有効性をう では、医薬品 と力を培うこと 心の解明、お いにおけるほ	者への医薬品情 予測、評価そして 品適正使用のた で目的とする。 薬手帳など医薬 医薬品適正使用	情報提供 注判断す めに、個 臨床薬 品適正 に重要	t・使用方法提別 る能力は、指導 国々の患者にお 学特論 I では、 使用サポート手 な事項とその科	などの指導や 算的立場に立つ ける薬物療法の 服薬指導事項 段の役割とその 学的根拠につい	提案を行うこ。 薬剤師にとっ D効果を科学! や重要な薬物 D有効な活用 いても学ぶ。	とにな て不可 的根拠 相互・ 方法等	な。従 可欠な 拠に基 作用と 等につ
	到達目標 (SBOs)	及び副作用評価 について説明で いて列挙し、概	果及び副作用の発現 5後の対応を適切に* きる。 6) セルフメディ 説できる。	判断できる。 4)服薬指導の根	見拠につ	いて説明できる	。 5) 薬物相互	作用の根拠と	上回避	拉方法
	务経験のま 員による教										
	評価方法		生50%、口頭発表を5	50%として総	括的評価を行い	・単位認	定する。				
	準備学習・ 多上の注意		5 時間の学習を行う	こと。							
才	フィスアワ	— 18:00~19:00 担	当教員の研究室								
	計画								1 1-	112	
回数	SBOs No.			授美	業 内 容				授		担当
1	1)~4)	服薬指導事項に関す	る知識を確認し、理解	平する。					講		鈴木
2	1)~4)	服薬指導に関する論	文を読み内容につい	て討議する。					S G	D	鈴木
3	1)~4)	服薬指導に関する論語	文を読み内容につい	て討議する。					S G	D	日高
4	1)~4)	服薬指導の科学的根	拠について要約し、タ	発表して討議	する。				S G	D	日高
5	1)2)3) 5)	薬物相互作用に関す	る知識を確認し、理解	弾する 。					講	義	下堂薗
6	1)2)3) 5)	薬物相互作用に関す	る論文を読み内容に	ついて討議す	ける。				S G	D	下堂薗
7	1)2)3) 5)	薬物相互作用に関す	る論文を読み内容に	ついて討議す	する 。				S G	D	園 田
8	1)2)3) 5)	薬物相互作用の科学	的根拠について要約	し、発表して	討議する。				S G	D	園 田
9	1)2)3) 6)	セルフメディケーション	ノに関する知識を確認	思し、理解する	5.				講	義	蒲生 下堂薗
10	1)2)3)	セルフメディケーション	ノに関する論文を読み	内容につい	て討議する。				S G	D	蒲生 下堂薗
11	1)2)3)	セルフメディケーション	ノに関する論文を読み	内容につい	て討議する。				S G	D	園 田
12	1)2)3) 6)	セルフメディケーション	vの科学的根拠につい	ハて要約し、勢	発表して討議す	る。 			S G	D	園 田
13	1)2)3) 7)	医薬品適正使用サポ	一ト手段に関する知言	識を確認し、3	理解する。				講	義	下堂薗 蒲生
14	1)2)3) 7)	医薬品適正使用サポ	ート手段に関する論	文を読み内容	ドについて討議す	する。			S G	D ·	下堂薗 蒲生
15	1)2)3) 7)	医薬品適正使用サポ	ート手段について要約	約し、発表して	て討議する。				S G	D .	下堂薗 蒲生
教科	書(著者名	名)出版社名【ISBN】	なし								
参考	書(著者	名)出版社名【ISBN】	必要に応じレジュメ	を配布。							

	科目名	臨床薬学特論	Ι				授業コード	220029BDP1	単位数	2				
配	当学科(学	生年) 医療薬学研究科	斗(1•2•3年)				時間数	30	AL 科目	0)			
	担当者	鈴木 彰人		開講学期	2020 年度	前期	必修•選択	選択	授業形態	演習∙	SGD			
	受業の概要 般目標(Gi	められる。すな: 務を担っている IO) 力を培うことを: および薬物治療	Sいて、薬剤師には疾患わち、薬剤師は個々の。 臨床薬学特論Ⅱでに 。 臨床薬学特論Ⅱでに をな目的とする。指導的 長を科学的根拠に基づ 「価法、また臨床試験	患者の薬物 は、個々の息 内立場に立り いて評価す	M療法の問題を 患者における治 ち医療により貢 る能力を身に作	把握し、 療効果を 献できる けけ、治療	医薬品情報を臨 科学的根拠に 薬剤師になるた 寮の有効性や有	a床応用して薬: 基づいて予測、 ∴めに、症例の打	学的提案を行う 評価そして判題 是示に対して患	さいう 新できる 者の卵	が任 る能 病態			
到達目標 (SBOs)		て、血中濃度の に対して科学的 6)薬物療法ま	1) 臨床検査値、検査所見、理学所見などから患者の問題点を判断し、解決策を提案できる。 2) TDM が必要な医薬品について、血中濃度の解析および処方設計ができる。 3) 薬物動態に影響を及ぼす要因を列挙し、それについて説明できる。 4) 症例に対して科学的根拠に基づいた最適な治療法の提案ができる。 5)薬物治療におけるファーマコビジランスの意義を説明できる 6) 薬物療法または栄養療法における治療効果を適正に評価するための試験計画を立案できる。											
	務経験のな 員による教													
	評価方法		日み姿勢(授業での積板) 窓合的に評価して点数			ょど:50 g	点)および授業後	後の簡単な口頭	試問またはレア	ポートに	内容			
	準備学習 多上の注意	四类中間以 1-	15 時間の学習を行うこ		Z III V C C 11 7 0									
オ	フィスアワ	在室時適宜												
	計画								10 10	.				
回 数	SBOs No.			授	業 内 容				授業 方法		旦当			
1	1)4)	症例提示(1):患者の	臨床状態の問題点を	0			演習·SG	D 鈴	计					
2	1)4)	症例提示(1):患者の	臨床状態に対する問題	題解決策の	0 0			演習·SG	D 鈴	木				
3	1)4)6)	症例提示(1):栄養療	法における治療効果の	の評価法につ	討議する	•	演習·SG	D 鈴	计					
4	1)3)4)	症例提示(2):患者の	臨床状態の問題点を	挙げ、その対	対策を提案する	0		演習·SG	D 鈴	计				
5	1)~4)	症例提示(2):治療薬	の血中濃度を薬物動態	態学的に解	析し、投与プラン	ノを立案	する。		演習·SG	D 日	髙			
6	2)3)4) 6)	症例提示(2):患者個	別の投与プランの妥当	4性を論文に	基づいて討議	する。			演習・SG	D E	高			
7	1)4)	症例提示(3):薬物療	法における問題点を挙	≦げ、その対	策を提案する。				演習·SG	D B	髙			
3	4)5)	症例提示(3):患者治	療における問題解決領	後の是非を言	対議する。				演習·SG	D B	髙			
9	4)5)6)	症例提示(3):医薬品	の使用実態データ等を	もとに最適	な治療法を提案	演習·SG	D 下	堂虜						
10	1)4)	症例提示(4):患者の	臨床状態の問題点を	ーーー 挙げ、その対	対策を提案する	0			演習·SG	D 下	堂團			
11	3)4)6)								演習·SG	D 下	堂團			
1 2	4)6)	症例提示(4):科学的	根拠に基づいて最適な	お治療法を提	5. <u> </u>			演習·SG	D 下	堂園				
13 1)4) 症例提示(5):患者の臨床状態の問題点を挙げ、その対策を提案する。									演習·SG	D 園] [
14	3)4)	症例提示(5):論文に	基づいて、薬物動態に	影響を及ぼ	ず要因を列挙	し、討議 [・]	する。	演習·SG	D 園] [
15	3)4)6)	症例提示(5):薬物療	法における治療効果の	つ評価法につ	 ついて提案し、	討議する	•		演習・SG	D 園				
サギ	書(著者:	名)出版社名【ISBN】	なし											

	科目名		フィジカルアセスメント特論				授業コード	220030BDP1	単位数		2
配	当学科(学	年)	医療薬学研究科(1・2・3年)				時間数	30	AL 科目	(0
	担当者		髙村 徳人	開講学期	2020 年度	前期	必修•選択	選択	授業形態	講義、乳	実習、SGD
	後業の概要 般目標(Gl		これからの薬剤師業務においては、バイタルサインなどの生体反応を正語では、薬物による生体反応を把握床の場において治療薬の有効性のを用い薬物投与による病態変化を再な薬物投与を行うには吸収、分布、化は標的組織への薬物移行量を反映	確に把握でき する技術とそ 予測、評価、料 現しながら、 弋謝、排泄を し効果に直結	るフィジカルア の理論および 判断能力を培う それらの病態が 考慮する必要が するため、それ	セスメン 薬物生体 ことを目 いら薬物 いあるが、 いらを予測	ト技術の習得が 内分布とその刻 的とする。 具体 の有効性を把握、なかでも、タン 川、評価そして半	不可欠である。 効果について学 的には、種々の させる能力を傾 パク結合が大き 川断するための	フィジカルア び、ベッドサィ 高性能生体 多得させる。さ く関与する薬 手法について	セスメ 作を含 ンミュし らに、 物のか も学る	ント特 シータ カータ カ カ が。
	到達目標 (SBOs)		1) 循環器、呼吸器、感覚に関するフから理論的に説明できる。 3) 薬剤性 一タからその病態を把握し治療の有る。 5) 血清タンパクの結合サイトの紙床検査値から、適切な鎮痛薬を選択効果を改善する方法を討議し説明で	アナフィラキ・ 効性を概説で 結合能の経時 し効果的な投 きる。	シー、高カリウ. きる。 4) 血清 的変化から薬 は与法を提示で	ム血症、 タンパク: 物の移行 きる。 7)	高血糖などの病質や膜輸送タン す性を推測できる フィジカルアセ	ҕ態変化を再現 パク質の生体で る。 6) 疼痛患者 スメントと生体で	した高性能生 内分布につい のバイタルサ 内分布の関係	体シミ て説明 ナインヤ から薬	ミュレ 月でき や臨 薬物の
	努経験のa 員による教		実務経験のある薬剤師と医師が担当 よび演習を行う。								
	評価方法		毎時間質問することにより学習成果 位認定を行う。	のフィードバッ	ックを行う。レポ	—►(809	%)、口頭試験(10%)、プレゼン	ノテーション(1	10%)	で単
	準備学習 [.] 多上の注意		授業時間外に 15 時間の学習を行う	こと。							
オ	フィスアワ	_	講義の前後に講義した場所で行う。								
授業 回	計画 SBOs								授	华	
数	No.				業 内 容 —————				方法	去	担当
1	1)		器、呼吸器、感覚のフィジカルアセス						講		全員
2	2)		の心音や呼吸音を体験し心臓や肺の						実		全 員
3	3)		性アナフィラキシーなどを体験し病態						実	_	全 員
4	4)	血清	タンパク質や膜輸送タンパク質の生体	は内分布の差	異を調べ、理解	弾する。 			講		全 員
5	4)5)	血清	タンパク結合能の経時的変化と薬物	移行性につい	て調べ、理解で	する。			講	義 3	全 員
6	6)	疼痛	時のバイタルサイン変化と臨床検査値	直変化の関係	を調べ、理解で	する。			講	義	全 員
7	4)~7)	学習	主題に関連する最新の英文論文を検	素し、選択し	て討議する。				S G	D 1	全 員
8	4)~7)	論文	を読み内容について討議する。						S G	D 1	全 員
9	4)~7)	論文	を読み内容について討議する。						S G	D 1	全 員
10	4)~7)	学習	の主題との関連から、論文の内容を	要約し、発表し	て討議する。。				S G	D 1	全 員
11	4)~7)	論文	を読み内容について討議する。						S G	D 1	全 員
12	4)~7)	論文	を読み内容について討議する。						S G	D 1	全 員
13	4)~7)	学習	の主題との関連から、論文の内容を	要約し、発表し	て討議する。				S G	D 1	全 員
1.4	4)~7)	学習	の主題についてレポートを作成して討	 議する。					S G	D 1	全 員
14											

必要に応じレジュメを配布。|薬のうごきを「みえる化」する:一目で伝わる ADME 図鑑(南山堂):髙村が担当の

教科書(著者名)出版社名【ISBN】

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

使用しない。

時使用

	科目名	感染症治療薬学	学特論			授業コード	220031BDP1	単位数		2	
配当	当学科(学	年) 医療薬学研究科	斗(1・2・3 年)			時間数	30	AL 科目		0	
	担当者	佐藤 圭創		開講学期	2020 年度 前期	必修•選択	選択	授業形態	講義、実	習、演習、	SGD
	受業の概要 般目標(Gl	ーム医療に貢献 え、微生物が生 ことを目的とした 感染症の抗微生 評価そして判断 酸化ストレス、近 因子である薬物	ぱできる薬剤師の育成 成する様々な生理活 ∴治療に大きく変貌して き物療法にはじまり、。。 ができる能力を培うこ □管内皮障害、透過性	を目的とする 性物質る。そこ 炎症制間のとする とを目的とす と方進などの は して、 関連酵素	する能力を身につけ、 。感染症治療に対する 対応や感染に伴う宿主 で、感染症治療薬学物 主免疫制御を加えた感 る。そのために、従来の 炎症学的パラメーターで 素の遺伝多型について で習得する。	5概念は、微生物の反応の制御を持論では、新しい。 決症を総合的に の微生物の排除を正確に評価す	かを排除すること ・適切に行うこと ・感染症の治療 ・治療する薬剤 ・効果のみならる る手法を習得す	とを中心としたで、「よりきれるの概念を基めの選択・有効が、感染病態である。 さらに、 !!	治療がに、性に性関う重要な	に治各予連宿	叩り重しる主
	到達目標 (SBOs)	できる。 4) 抗微 形成因子につい	生物薬についてそれ	ぞれの特徴を	は何かを概説できる。 3 と列挙できる。 5)感染タ えることができる。 7) 『	定における病態	的特徴を説明で	きる。 6) 感	杂症 <i>0</i>		
	務経験のな 員による教										
	評価方法	3回のレポート	および口頭発表を総合	合的に評価す	る 。						
	準備学習・ 多上の注意	一一成型に一切する	基礎知識について、	あらかじめ学	習しておく。 授業時間	外に 15 時間の!	学習を行うこと。 				
オ	フィスアワ	一 毎週 月~木	17-20 時								
	計画							150	Mr.		
回数	SBOs No.			授 美	業 内 容			授 方 方		担	当
1	1)	顕微鏡を用いて代表	的微生物を観察し、理	異解する。				実	習	全	員
2	1)2)3)	感染症はどうして起こ	るか理解する。					講	義	佐	藤
3	2)3)	感染症における炎症	・免疫反応を理解する) 。				講	義	佐	藤
4	2)3)	感染症における炎症	・免疫反応の提示した	実験データを	を解析し、討議する。			S G	D	全	員
5	1)4)	抗微生物薬の特徴を	理解する。					講	義	佐	藤
6	1)2)4)	感染症例の検討会を	とおして抗微生物薬遺	選択法を理解	する。			講義、	寅習	佐	藤
7	2)3)5)	感染症における病態	的特徴と臨床症状につ	ついて理解し	、討議する。			S G	D	全	員
8	5)6)	感染症の病態形成因	子と治療について文	献的に調べて	で討議する。			S G	D	全	員
9	5)6)	感染症の病態形成因	子に関する実験デー	タを解析し、	討議する。			S G	D	全	員
10	2)3)5) 6)	感染症に関する論文	を選択し、論文の内容	字を要約し、発	 発表して討議する。			S G	D	全	員
11	2)3)5) 6)	感染症に関する論文	を読み内容について	討議する。				S G	D	全	員
12	2)3)5) 6)	学習の主題との関連	から、論文の内容を要	要約し、発表し	て討議する。			S G	D	全	員
13	2)3)5)	学習の主題について	レポートを作成し、討	議する。				S G	D	全	員
14	7)	感染症治療における	薬剤師の役割につい	て確認し、討	議する。			S G	D	全	員
15	1)~7)	学習の主題について	発表し、討議する。					S G	D	全	員
教科	書(著者	名)出版社名【ISBN】	使用しない					·			

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 必要に応じレジュメを配布。

	科目名	医療薬	学基礎演	習Ⅲ			授	業コード	220032	BDP1	単位数			2	
配当	当学科(学	生年) 医療薬	学研究科	(2・3 年)			時	間数	3	0	AL科目	1		0	
	担当者	下堂薗	権洋		開講学期	2020 年度 後	段期 必	修•選択	必	修	授業形	態	SG	iD, 沿	复習
授業の概要・ 一般目標(GIO) 総合的に活用・ 最適化していく 院薬局、保険す 討結果を客観的				習Ⅲでは、これまできることを目的としっ きることを目的としっ けの向上を目指す 司、在宅医療の場け に評価し総括する能	ている。即ち、 。具体的には こおいて、問題 能力を修得する	薬剤師業務の中で 、医療現場での種 i点を抽出し検討課 る。	ご、レギュ なの設な 果題を設な	ラトリーサイ 定におけるシ 定でき、課題	ィエンスの レミュレー 遂行の	D有効f -ション 手法を	性の概念 を演習形 選択し実	に基 式で 施す	づき 体験 る能	業務 し、 力、	を病検
	到達目標 (SBOs)	トリーサ	ナイエンス	いて、レギュラトリ・ の有効性の概念に を最適化できる。											
	務経験のな 員による教														
	評価方法	3回の	レポートを	50%、口頭発表を	50%として総	括的評価を行い、	単位認定	≅する 。							
	準備学習 [。] 多上の注意		授業の前	後、週末および長期	胡休暇を使って	て、計 60 時間の予	習∙復習	を行うこと。							
	フィスアワ		-19:00 各	教員の研究室											
	計画	<u>'</u>										1=	alle.		
回 数	SBOs No.				授美	業 内 容						授 方:		担	当
1	1)	病院薬局業	務における	る医薬品の有効性の	D予測ができる	Ď.						演	習	全	j
2	1)	病院薬局業	務における	る医薬品の有効性の	り評価ができる	5.						演	習	全	ļ
3	1)	病院薬局業									演	習	全	į	
4	1)	病院薬局業	務における	る医薬品の有効性の	の最適化ができ	きる。						演	習	全	į
5	1)	病院薬局業	務における	る医薬品の有効性を	F総合的に討議	義する。						SG	D	全	į
6	2)	保険薬局業	務における	る医薬品の有効性の	の予測ができる	5.						演	習	全	į
7	2)	保険薬局業	務における	る医薬品の有効性 <i>の</i>	の評価ができる	5 .						演	習	全	į
8	2)	保険薬局業	務における	る医薬品の有効性の	り判断ができる	5 .						演	習	全	j
9	2)	保険薬局業	務における	る医薬品の有効性の	の最適化ができ	きる。						演	習	全	j
10	2)	保険薬局業	務における	る医薬品の有効性を	と総合的に討論	義する。						S G	i D	全	ļ
11	3)	在宅医療業	在宅医療業務における医薬品の有効性の予測ができる。								演	習	全	ļ	
12	3)	在宅医療業	王宅医療業務における医薬品の有効性の評価ができる。								演	習	全	j	
13	3)	在宅医療業	務における	る医薬品の有効性の	り判断ができる	5 .						演	習	全	į
14	3)	在宅医療業	務における	る医薬品の有効性の	の最適化ができ	きる。						演	習	全	j
15	3)	在宅医療業	務における	る医薬品の有効性を	と総合的に討論	養する。						S G	D	全	į
教科	∤書(著者:	名)出版社名[ISBN]	使用しない											
参考	書(著者:	名)出版社名【	ISBN]	必要に応じレジュス	を配布。										